



令和8年度 下水道事業 公共污水ます設置工事

金抜設計書

工事番号 2026033500

---

工事名 令和8年度 下水道事業 公共污水ます設置工事

---

施工場所 加東市全域

---

---

兵庫県 加東市



# 総括情報表

単価適用年月日	00-08.04.01(0)		
工種区分(公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休2日補正	今 回 15 下水道(2) 35 一般交通影響有り(2)-2 02 補正なし 1.00 01 計上する 04 週休2日補正なし	前 回	





# 工事費内訳書

頁0-0004/0037

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ます(塩ビ製)										
ます設置工 ます径 200mm, 設置あり 市章マーク入り 鋳鉄製防護蓋	15			箇所						施工 第0 -0015号内訳表
取付管布設工										
取付管(塩ビ管)										
取付管布設および支管取付工 管径 150mm, コンクリート製・陶製以外の管	15			箇所						施工 第0 -0016号内訳表
管明示シート工										
管路土留工	45			m						施工 第0 -0017号内訳表
アルミ板土留										
アルミ土留工 掘削深2.0m以下	15			m						施工 第0 -0019号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0005/0037

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
開削水替工						
開削水替						
水替工						
舗装工			箇所			施工 第0 -0022号内訳表
アスファルト舗装復旧工						
基層(歩道部)						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	150		m			施工 第0 -0001号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	225		m <sup>2</sup>			施工 第0 -0002号内訳表
搬運 舗装版破碎 ; DID区間無し L=9.0km以下	11		m <sup>3</sup>			施工 第0 -0013号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0006/0037

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費 アスファルト ; 投棄量 1 1m <sup>3</sup>	1			式						施工 第0 -0025号内訳表
不陸修正工(粒調碎石) 施工幅: 1.8m 未満、補足材厚2cm	225			m <sup>2</sup>						施工 第0 -0026号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコ[再](13) t=50mm 砂散布なし	225			m <sup>2</sup>						施工 第0 -0027号内訳表
舗装仮復旧工										
表層(車道・路肩部)										
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコ[再](13) t=50mm 砂散布なし	27			m <sup>2</sup>						施工 第0 -0027号内訳表
区画線工										
溶融式区画線										
区画線設置 [溶融式] 実線 15cm t=1.5mm	45			m						施工 第0 -0030号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0007/0037

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	60		人日			施工 第0 -0033号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分						
純工事費計			式			
現場管理費						
			式			



舗装版切断(アスファルト舗装版)

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0009/0037

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機劣材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフレート 径18インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタート			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				





# 施工単価表

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0012/0037

砂基礎工

[規格1]スクリーニングス

[規格2]

[摘要]

1

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎設置	1.00	m3			施工 第0-0006号内訳表
スクリーニングス (0~2.5mm)		m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 基礎材種類		=5			
B 1 工事の施工規模		=1			
C 時間的制約の補正		=1			
D 夜間作業の補正		=1			

スクリーニングス  
10m3以上  
時間的制約なし  
昼間作業



# 施工単価表

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0014/0037

埋戻工

[規格1]再生切込砕石

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホリ運転		日			
タンバ締固め	100.00	m3			施工 第0-0008号内訳表
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類		=6	再生切込砕石		
B 土留の種類		=1	たて込み簡易・軽量鋼矢板・7R3矢板		
C バックホリ規格		=2	バックホリ 山積0.13m3(平積0.1m3)		





土砂等運搬

積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0017/0037

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機台材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[ホンロード・ティセム] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 2t積級[ホンロード・ティセム] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1	運転手(一般)				運転手(一般)			
R								
Z1	軽油 パトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場		=2	小規模				
B	積込機種・規格		=6	バックホウ積0.13m3(平積0.1m3)				
C	土質		=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無		=1	無し				
G	運搬距離3		=11	4.5km以下				



殻運搬

# 積算単価算出表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0019/0037

[規格1] 舗装版破砕

[規格2]

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機台材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オロード・ティール] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 2t積級[オロード・ティール] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1	運転手(一般)				運転手(一般)			
R								
Z1	軽油 パトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業		=3	舗装版破砕				
B	積込工法区分		=4	機械(小規模土工)				
C	DID区間の有無		=1	無し				
D	運搬距離		=22	9.0km以下				













# 施工単価表

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0026/0037

アルミ矢板建込引抜工（両側分）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		日			
トラックレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=2	バックホ 山積0.13m3(平積0.1m3)		

# 施工単価表

施工 第0 -0021号内訳表

頁0-0027/0037

支保工（軽量金属） 設置・撤去

[規格1] 段数1段 掘削深2.0m以下

[規格2]

[ 摘要 ]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分		=3			
B 段数・掘削深		=1			
C 切梁材種別		=2			

設置・撤去  
段数1段 掘削深2.0m以下  
ねじ式パイプサポート









# 施工単価表

施工 第0 -0027号内訳表

頁0-0032/0037

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1] 密粒度アスコン[再] (13) t=5.0mm

[規格2] 砂散布なし

[ 摘要 ]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)		L			
振動ローリ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再] (13)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=2	プライムコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		





# 施工単価表

施工 第0 -0032号内訳表

頁0-0035/0037

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合 計		m			
単 位 当 り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		



# 機 労 材 集 計 表

項番	集計区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			小型バックホウ(クローラ型)					
			振動ローラ(舗装用)					
			振動コンパクタ					
			コンクリートカッター					
			特殊作業員					
			普通作業員					
			運転手(特殊)					
			運転手(一般)					
			土木一般世話役					
			交通誘導警備員B					
			粒調砕石					県産品有
			スクリーニングス					県産品有
			再生切込砕石					県産品有
			再生密粒度アスコン					県産品有
			レギュラーガolin					
			軽油					
			アスファルト乳剤					
			舗装版切断 カッタープレート					
			路面標示用塗料 3種1号 溶融 白					
			接着用プライマー					
			ガラスビーズ					
			受入価格					
			受入価格					
			受入価格					
			区画線設置工 溶融式(手動) [昼間]					
			トラックレン					
			発動発電機					
			タンク(ランマ)					
			ダンプトラック					
			ます設置工(塩化ビニル製)					
			鋳鉄製防護蓋設置費(加算額)					
			取付管敷設工及び支管取付工					
			砂基礎設置					

数量総括表

工事名		令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事			【当初設計】		事業区分 (レ^ M0)	下水道施設整備
工種 (レ^ M2)	種類 (レ^ M3)	名称	規格 (レ^ M5)	計 算 式	数 量	単 位	管 路	摘 要
本工事費								
管路								
		取り付け管及びます						
		管路土工						
		舗装版切断(アスファルト舗装版)			99.0	99.0	m	
		舗装版破碎積込(小規模土工)			27.0	27.0	m2	
		機械掘削工(バックホウ)			46.5	46.0	m3	
		管路埋戻						
		砂基礎工；[機械投入]			12.0	12.0	m3	
		；機械投入；埋戻工			28.5	28.0	m3	
		路盤工(粒調砕石)			27.0	27.0	m2	
		発生土処理						
		土砂等運搬；(小規模)			46.5	46.0	m3	
		処分費			1.0	1.0	式	
		殻運搬			1.5	1.5	m3	

数量総括表

工事名		令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事			【当初設計】		事業区分(レ^10)	下水道施設整備
工種(レ^12)	種別(レ^13)	名称	規格(レ^15)	計算式	数量	単位	管路	摘要
		処分費			1.0	1.0		式
		ます(塩ビ製)						
		ます設置工			15.0	15.0		箇所
		取付管(塩ビ管)						
		取付管布設および支管取付工			15.0	15.0		箇所
		管明示シート工			45.0	45.0		m
		7×12板土留						
		アルミ土留工			15.0	15.0		m
		開削水管						
		水替工			15.0	15.0		箇所
		舗装						
		舗装版切断(アスファルト舗装版)			150.0	150.0		m
		舗装版破砕積込(小規模土工)			225.0	225.0		m2
		搬運機			11.3	11.0		m3
		処分費			1.0	1.0		式
		不陸整正工(粒調砕石)			225.0	225.0		m2

## 数量総括表

工事名		令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事				【当初設計】		事業区分 (レ' 10)	下水道施設整備
工種 (レ' 12)	種別 (レ' 13)	名称	規格 (レ' 15)	計 算 式		数 量	単 位	管 路	摘 要
細別 (レ' 14)									
		アスファルト舗装工 (人力)				225.0	225.0	m <sup>2</sup>	
表層									
		アスファルト舗装工 (人力)				27.0	27.0	m <sup>2</sup>	
溶融式区画線									
		区画線設置 [溶融式]				45.0	45.0	m	
安全工									
		交通誘導警備員 B				60.0	60.0	人日	

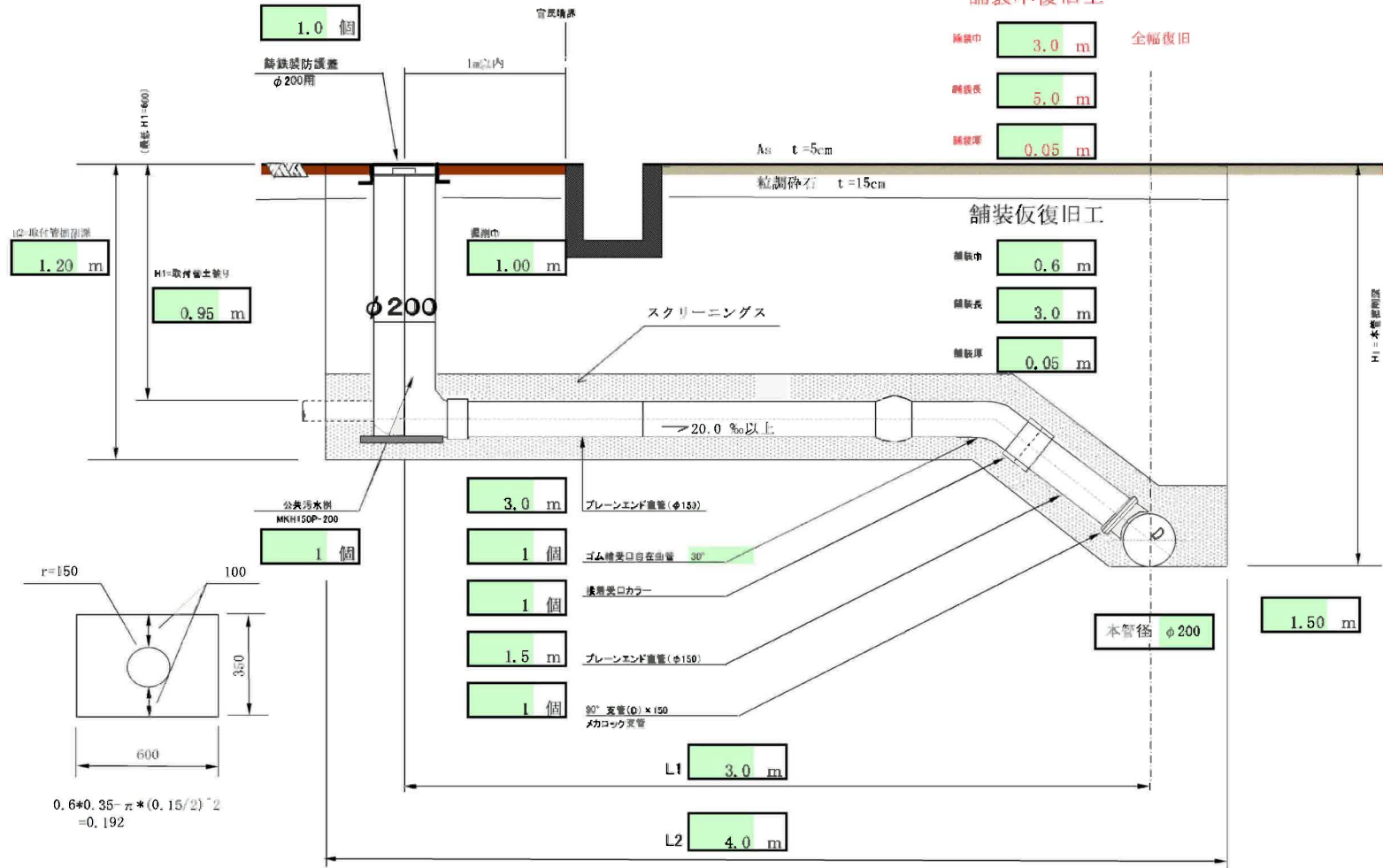
工事名: 令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事 集計表(取付管およびます工)

番号	氏名(住所)	管路土工													ます設置工				取付管布設工				管路土留工	開削水替工			
		管路掘削		CO構造物					掘削			管路埋戻			発生土処理			ます(埋込型)				取付管(埋込管)					
		切筋(m)	掘削積込(m <sup>2</sup> )	取壊し(m <sup>3</sup> )	掘削積込(m <sup>3</sup> )	機械(m <sup>3</sup> )	人力(m <sup>3</sup> )	砂基礎(m <sup>3</sup> )	埋戻碎石(m <sup>3</sup> )	路盤敷調(m <sup>2</sup> )	機械(m <sup>2</sup> )	CO構造物打設(m <sup>3</sup> )	土砂(m <sup>3</sup> )	A6ガラ(m <sup>3</sup> )	Coガラ(m <sup>3</sup> )	径200mm(箇所)	3m未満(箇所)	5m未満(箇所)	12m未満(箇所)	管明示シート(m)	矢板・支保設置撤去(m)	ポンプ運転作業時排水(箇所)					
1	A 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
2	B 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
3	C 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
4	D 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
5	E 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
6	F 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
7	G 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
8	H 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
9	I 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
10	J 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
11	K 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
12	L 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
13	M 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
14	N 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
15	O 邸 加東市〇〇	6.6	1.8			3.1		0.8	1.9	1.8			3.1	0.1		1	1			3.0	1.0	1					
合計		99.0	27.0			46.5		12.0	28.5	27.0			46.5	1.5		15.0	15.0			45.0	15.0	15.0					
積算表示		99	27			46		12	28	27			46	1.5		15	15			45	15	15					

工事名: 令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事 集計表(舗装工・仮設工)

番号	氏名(住所)	舗装復旧工											舗装仮復旧工			区画線工		仮設工				
		舗装表層		搬送液・処分		不陸修正	車道表層			車道基層			歩道表層	安定処理	車道表層		溶融式区画線	カーマックス	交通管理工			
		切断 (m)	掃削積込 (m <sup>2</sup> )	Asガラ (m <sup>3</sup> )		人力 (m <sup>2</sup> )	t=50 (m <sup>2</sup> )	排水性t=50 (m <sup>2</sup> )	t=30 (m <sup>2</sup> )	t=50 (m <sup>2</sup> )	排水性t=50 (m <sup>2</sup> )	t=30 (m <sup>2</sup> )	t=30 (m <sup>2</sup> )		t=50 (m <sup>2</sup> )	排水性t=50 (m <sup>2</sup> )	t=30 (m <sup>2</sup> )	白・実線15 (m)	黄・実線20 (m)	グリーン (m <sup>2</sup> )	A (人)	B (人)
1	A 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
2	B 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
3	C 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
4	D 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
5	E 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
6	F 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
7	G 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
3	H 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
9	I 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
10	J 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
11	K 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
12	L 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
13	M 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
14	N 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
15	O 邸 加東市〇〇	10.0	15.0	0.75		15.0	15.0							1.8			3.0					4
合 計		150.0	225.0	11.3		225.0	225.0							27.0			45.0					60.0
概算表示		150	225	11		225	225							27			45					60

# 汚水ます及び取付管工 よこ型 (宅内土被り1m未満の場合)



工事箇所	公共汚水ます設置標準図	施工業者	住所
		名称	

平均掘削深 (m)	1.35
機械掘削深 (m)	1.30 (=1.35-0.00-0.05)
機械掘削量 (m <sup>3</sup> )	3.12 (=1.3*4.0*0.6)
舗装版切斷 (m <sup>2</sup> )	9.6 (=3.0*2*0.6)
舗装版破砕 (m <sup>2</sup> )	1.8 (=3.0*0.6)

埋戻 (砂)	(m <sup>3</sup> )	0.76 (=0.19*4.0)
埋戻 (再生砕石)	(m <sup>3</sup> )	1.92 (= (1.35-0.05-0.15-0.35)*0.6*4)
埋戻 (粒調砕石)	(m <sup>3</sup> )	1.80 (=0.6*3.0)
仮復旧 (As5cm)	(m <sup>2</sup> )	1.8 (=3.0*0.6)
処分量 (上砂)	(m <sup>3</sup> )	3.12
処分量 (As①)	(m <sup>3</sup> )	0.04 (=1.30*0.05)

本復旧	(m)	10.00 (=5.00*2)
舗装版切斷	(m <sup>2</sup> )	15.00 (=3.0*5.0)
舗装版破砕	(m <sup>2</sup> )	15.00 (=3.0*5.0)
不陸修正	(m <sup>2</sup> )	15.00 (=3.0*5.0)
舗装復旧 (As5cm)	(m <sup>2</sup> )	15.00 (=3.0*5.0)
処分量 (As②)	(m <sup>3</sup> )	0.75 (=15.00*0.05)
処分量 (As計)	(m <sup>3</sup> )	0.8 (=0.05*0.75)

別紙

公共汚水ます設置工事 1箇所当り・数量計算書

管路掘削			
舗装版切断	As舗装版厚	舗装巾 + 舗装長 * 2.00	
	15cm以下	0.60 + 3.00 * 2.00 = 6.6 m	
舗装版破碎積込	小規模土工	舗装巾 * 舗装長	
		3.00 * 0.60 = 1.8 m <sup>2</sup>	
機械掘削工	バックホウ	掘削巾 * 掘削長 * 掘削深	
		0.60 * 4.00 * 1.30 = 3.12 ≒ 3.1 m <sup>3</sup>	
管路埋戻			
人力投入	埋戻工	埋戻断面積 * 埋戻長	
	砂	0.19 * 4.00 = 0.76 ≒ 0.8 m <sup>3</sup>	
機械投入	埋戻工	埋戻断面積 * 埋戻長	
	再生切込砕石	( 1.35 - 0.05 - 0.15 - 0.35 ) * 0.6 * 4 = 1.92 ≒ 1.9 m <sup>3</sup>	
路盤工	粒調砕石	仮舗装巾 * 仮舗装長	
	上層路盤	0.60 * 3.00 = 1.8 m <sup>2</sup>	
	施工幅:1.8m 仕上り厚15cm		
発生土処理			
運搬・処分	土砂	機械掘削	
		3.12 ≒ 3.1 m <sup>3</sup>	
運搬・処分	舗装版破碎	仮舗装巾 * 仮舗装長 * 仮舗装厚	
		0.60 * 3.00 * 0.05 ≒ 0.1 m <sup>3</sup>	
ます設置工			
ます(塩ビ製)	設置工		
	径200mm	1 箇所	
取付管布設工			
取付管(塩ビ管)	取付管布設及び支管取付		
	φ150/3m未満	1 箇所	
管明示シート		3.0 m	
管路土留工			
アルミ矢板・支保	設置撤去工		
	掘削深2.0m以下	1.0 m	
開削水替工			
ポンプ運転	作業時排水		
		1 箇所	
舗装復旧工			
舗装版切断	As舗装版厚	本舗装長 * 2.00	
	15cm以下	5.00 * 2.00 = 10.0 m	
舗装版破碎積込	小規模土工	仮舗装巾 * 仮舗装長	
		3.00 * 5.00 = 15.0 m <sup>2</sup>	
殻運搬・処分	舗装版破碎	本舗装面積 * 本仮舗装厚	
		15.00 * 0.05 = 0.75 m <sup>3</sup>	
人力不陸整正		本舗装巾 * 本舗装長	
		3.00 * 5.00 = 15.0 m <sup>2</sup>	
車道表層	厚 5cm	本舗装巾 * 本舗装長	
	砂散布なし	3.00 * 5.00 = 15.0 m <sup>2</sup>	
舗装仮復旧工			
車道表層	厚 5cm	仮舗装巾 * 仮舗装長	
	砂散布なし	0.60 * 3.00 = 1.8 m <sup>2</sup>	
区画線工			
溶融式区画線	区画線設置	片側	
	白・実線15cm	3.00 * 1 = 3.0 m	
交通管理工			
交通誘導警備員B		人数 * 日数	
		2.00 * 2 = 4 人	

# 特記仕様書

工事名 令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事  
工事場所 加東市 全域  
工期 契約締結日の翌日から令和9年3月19日まで

## 第1条 適用の範囲

- (1) この仕様書は加東市が施工する 令和8年度 下水道事業 公共汚水ます設置工事 に適用する。
- (2) 本工事は、設計図書・本仕様書の他に、下記の図書（最新版）に準拠して施工しなければならない。

土木工事共通仕様書	(兵庫県土木部)
土木工事施工管理基準	(兵庫県土木部)
土木請負工事必携	(兵庫県土木部)
小型構造物標準図集	(兵庫県土木部)
土木技術管理規程集 道路Ⅰ・Ⅱ編	(兵庫県土木部)
下水道施設計画・設計指針と解説	(日本下水道協会)
下水道維持管理指針	(日本下水道協会)

## 第2条 公共汚水ます

- (1) 公共汚水ますの設置位置は、請負者と各受益者の協議により決定すること。
- (2) 設置位置が決定しない場合は、監督員と協議するものとする。公共汚水ますは、受益者提出の図面によって施工するものとする。
- (3) 公共汚水ますの深さは、宅地排水箇所の位置を十分検討し設置すること。

## 第3条 舗装復旧

- (1) 舗装の仮復旧は、その日のうちに施工すること。
- (2) 舗装の本復旧は、仮復旧後、自然転圧期間（約2週間）を経過した後、遅滞無く速やかに施工すること。

## 第4条 地上・地下構造物等の調査と立会・試掘

- (1) 工事区域全般にわたる地上・地下構造物等を調査し、これらに支障のないように十分に注意しなければならない。
- (2) 工事区域内に NTT 地下埋設ケーブルがある場合、掘削前に事前通知を行い(株)ソフ・テクノゾーズ NTT 事業本部 姫路 保守センタ (Tel.079-233-4438) と立会い必要に応じて試掘を行うこと。
- (3) 同様に大阪ガス地下埋設管がある場合においても掘削前に大阪ガス(株) ネットワークカンパ

ニ 兵庫導管部 保全チーム 他工事神戸グループ (TEL078-303-7746) と立会いし必要に応じて試掘を行うこと。

#### 第5条 建設廃棄物の処分

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (2) 請負者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。
- (3) 本工事については、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。
- (4) 作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書CDを監督員に提出するものとする。
- (5) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	施設の名称	運搬距離	所在地	受入条件	その他
土砂	池安	3.7km	加東市久米1017-7		
AS殻(掘削)	大林道路東条アスファルト混合所	8.4km	加東市天神1228-39		

再生資源化等をする施設の名称及び所在地の搬出先については、積算条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではなく、請負者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、請負者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

- (6) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を兼ねるものとする。
  - ・再資源化等が完了した年月日
  - ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
  - ・再資源化等に要した費用

## 第6条 交通誘導員の配置

交通誘導員については、交通誘導員 A 一名 交通誘導員 B 60名 計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A、B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）  
で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

## 第7条 その他

- (1) 道路横断管等を破損した場合は監督員に速やかに報告し、当該施設管理者と協議を行い、指示を受けた内容のとおり復旧すること。
- (2) 沿道事業者へ工事協力を依頼し十分理解を得ること。
- (3) 本工事は公共汚水ます設置願いが提出される毎に、工事要請をすることとなるので施工体制、警察協議等を綿密に行うこと。
- (4) 道路管理者との協議を行うための図面を作成すること。
- (5) 公共汚水ますを設置する敷地にて同時期に給水管引込工事等が施工される場合においては、給水管引込等施工業者と工事時期及び施工範囲について調整を行うこと。また、同一掘削断面内での施工や舗装復旧範囲が重なる場合は、各々の負担割合について協議を行い、監督員に報告すること。
- (6) 道路使用許可申請は、原則、公共汚水ます1箇所ごとに必要となるが、その費用については含むものとする。
- (7) 鋳鉄製防護蓋は加東市章入りを標準とする。
- (8) 四半期ごとに設置が完了した公共ますについて、別紙「公共汚水ます設置標準図」をもとに工事実績数量及び公共ます設置台帳を監督員に報告すること。
- (9) 積算上、公共汚水ます設置を15箇所として計上しているが、実績に応じて設計変更する。
- (10) 本工事の性質上、前金払いを行わない。